

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 転移性大腸癌に対するがん診療拠点病院2施設での Fruquintinib 治療成績解析

研究の目的

切除不能進行・再発結腸直腸癌患者さんに対する、新たな治療薬である Fruquintinib（商品名：フリュザクラ）内服治療の治療効果・副作用について、青森県のがん診療連携拠点病院で行った治療効果を解析することを目的とします。

研究実施期間： 実施許可日～2026 年 4 月 30 日

対象となる方： 2024 年 9 月 24 日（Fruquintinib 保険承認日）～2025 年 6 月までの期間において、弘前大学医学部附属病院腫瘍内科および青森県立中央病院消化器内科・腫瘍内科で切除不能進行・再発結腸直腸癌と診断され、Fruquintinib 内服治療が行われた患者さん

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

Fruquintinib は抗癌剤の一種である経口チロシンキナーゼ阻害薬であり、切除不能進行・再発大腸癌に対する治療効果・有用性を検討した臨床試験（FRESCO-2 試験）で治療効果および安全性が認められました。この試験結果から 2024 年 9 月末に Fruquintinib は過去に 1 つ以上の抗癌剤治療経験のある切除不能進行・再発大腸癌に対する治療薬として保険承認されました。

弘前大学医学部附属病院腫瘍内科および青森県立中央病院消化器内科・腫瘍内科のカルテに記録されている情報のうち、性別、年齢、Performance status、採血結果、画像検査結果、抗癌剤治療内容、処方薬、副作用状況、治療経過について標記研究のために利用します。

具体的には Fruquintinib 療法を行った症例の抗癌剤治療効果が得られた期間、治療開始後の生存期間、導入時期、次治療移行率、副作用の出現頻度などを統計解析的手法で評価することで実臨床における傾向を把握します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院腫瘍内科 斎藤 絢介 医局 0172-39-5346
-------	--